

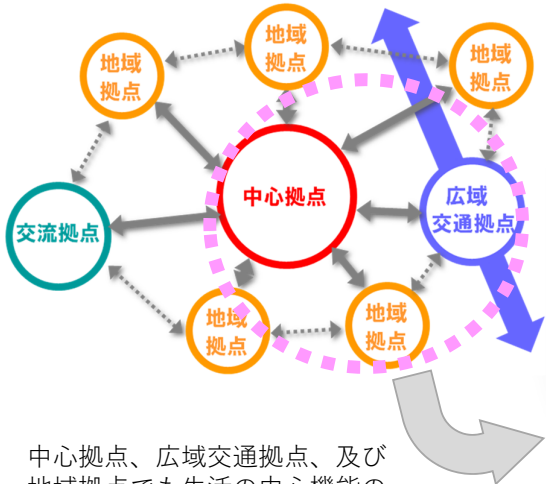
1 将来的なまちづくりに向けた土地利用の考え方

Vision Concept

拠点集約連携型都市構造

「地域の多様性をいかし、豊かな暮らしを実現する持続可能なまち」を目指し、各拠点の有機的な相互連携を推進する。

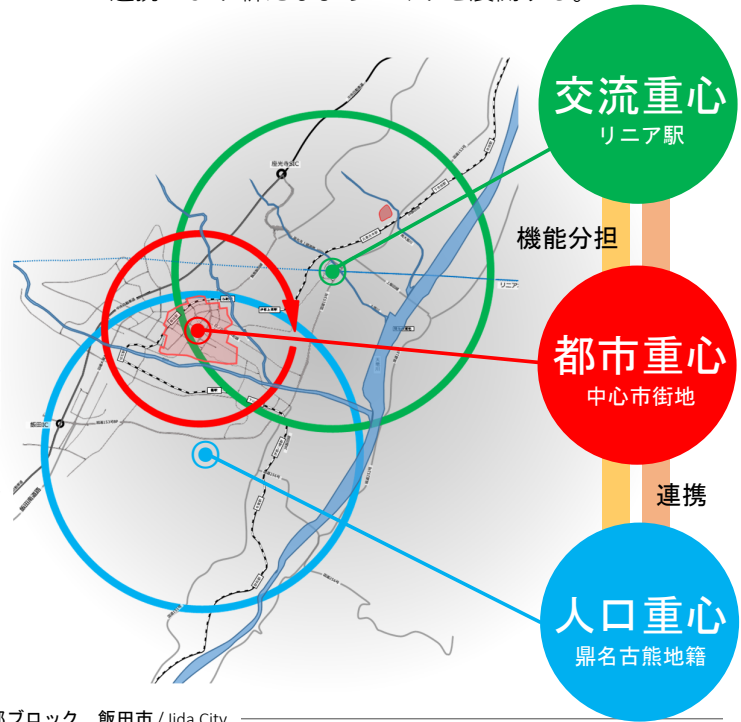
飯田市土地利用基本方針



中心拠点、広域交通拠点、及び地域拠点でも生活の中心機能の集積する地域は、都市の重要な機能を担っているが、インフラ整備などの様々な要素も踏まえた新たな視点からの検討が必要。

「3重心」のまちづくり

リニア時代のまちづくりの視点として、都市機能の集積を担う『都市重心』・『人口重心』・『交流重心』の3重心を意識したまちづくりを基本に据え、機能分担と連携により新たなまちづくりを展開する。



中部ブロック 飯田市 / Iida City

2 「3重心」による機能と構造（都市重心・人口重心）

Vision Concept

都市重心

[中心市街地エリア]

- 市の中心、当地域の中心
- 高次都市施設の集積
行政機能 / 金融機能 / 公安施設 / 文化施設
- まちなかMICE機能
- 居住環境や交通利便性の向上

多様なライフスタイルの実現

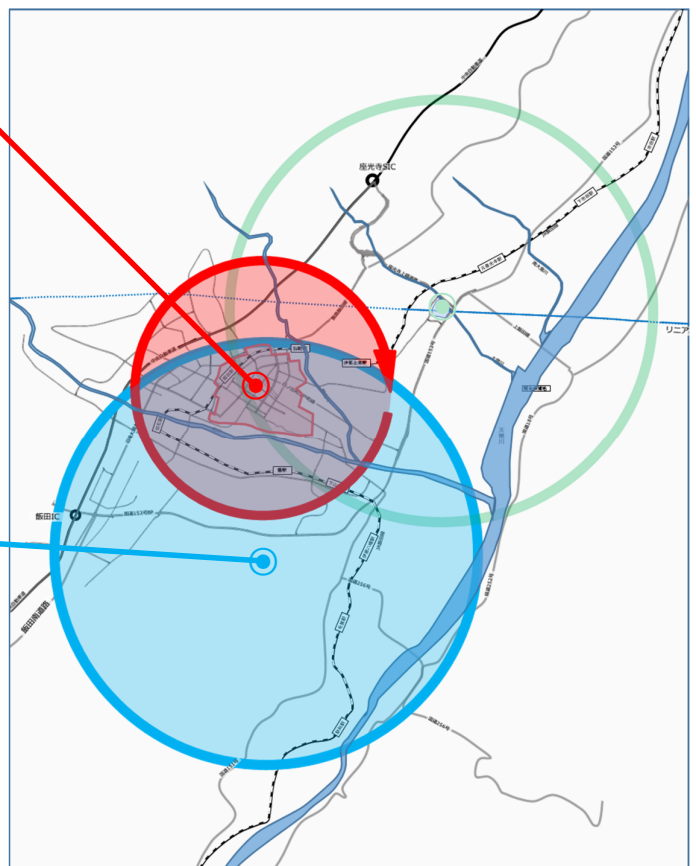
人口重心

[生活利便向上エリア]

- 市の人口重心、当地域の人口重心
- 広域的な交通を支える中環状道路軸のほぼ中心
- 生活利便施設
市立病院 / 大型商業施設 / スポーツ施設

生活利便性機能の維持

※ 当地域：南信州地域



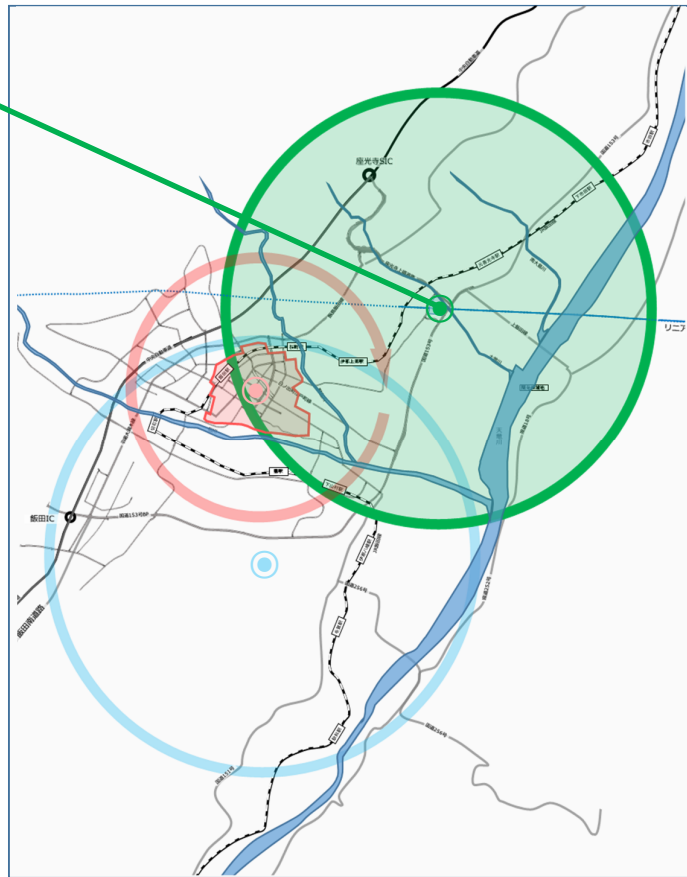
中部ブロック 飯田市 / Iida City

交流重心

[リニア活用グリーンエリア]

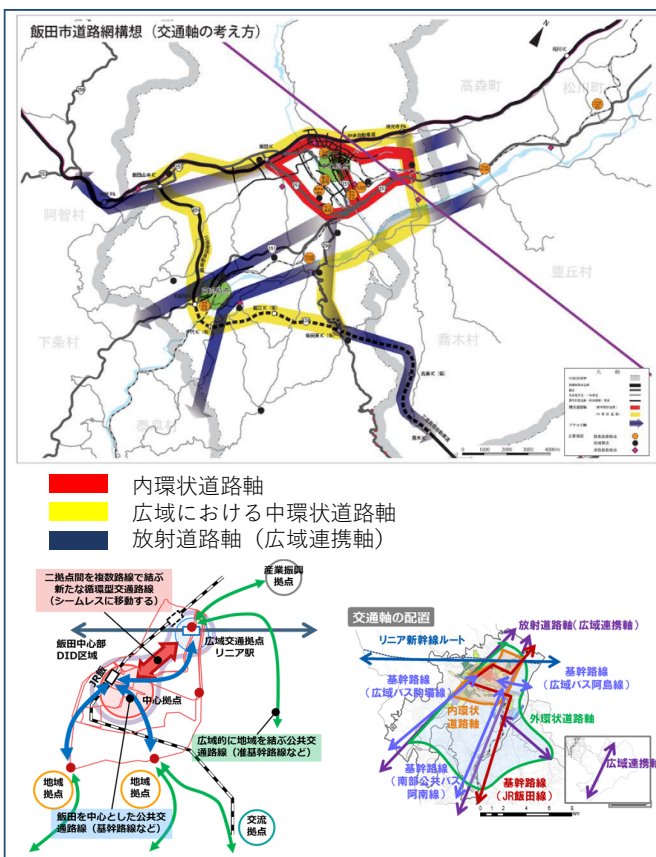
- **リニア駅周辺整備**
機能+自然との調和+地域らしさ
グリーンインフラ / 可変性
アクセス性の向上
- **研究開発型企业・機関の誘致**
「エス・バード」との連携
- **サステイナブルオフィス**
ビジネスゾーンの形成
サテライトオフィス
- **ゼロカーボン**
ゼロエミッションモデル
脱炭素な暮らしの実現
- **景観の創出と保全**
- **民間投資の促進**
グリーン企業の誘致 / 二地域居住
- **新モビリティシステム**
- **高等教育機関の誘致**
- **アリーナ機能を中心とした複合施設**

多様な人材が行き交う拠点
新たな産業やライフスタイルの創出



中部ブロック 飯田市 / Iida City

3 観光振興と当地域の各拠点をつなぐ軸



交流拠点の位置付けと方向性

- **当地域に散在する多彩な観光資源を活かした新たな観光振興**
都市圏や海外からの旅行者
遠山郷や天龍峡など域内の観光資源の活用
雄大な自然 / 日本の原風景 / 伝統芸能 /
特色ある食事 / 体験・アクティビティ

当地域の固有資源を活かし
人の流れを創出

交流の新機軸と拠点間をつなぐ交通

- **新たな人の流れを地域に波及させ、多様な交流を生む連携の基盤**
- **当地域の道路網・二次交通の体制整備**

リニア中央新幹線と
三遠南信自動車道が
もたらす新たな交流

2050年「日本一住みたい地域になる」

中部ブロック 飯田市 / Iida City